

第3回 EBPM推進委員会（令和6年1月18日）
議事要旨

【開催日時】

令和6年1月18日（木）14時00分～14時50分

【場 所】

オンライン開催

【出席者】

（構成員）藤井 健志 内閣官房副長官補（内政担当）を始めとするEBPM推進委員会構成員

（関係者）財務省主計局主計企画官（調整担当）
各府省会計課長等

【議 事】

1. 今後の取組の進め方
2. 各府省における取組紹介（推進体制の整備等の取組例）
3. 会長発言

【議事の経過】

1. 今後の取組の進め方

行政改革推進本部事務局から、今後の取組の進め方及び「行政事業レビューシート作成ガイドブック（暫定版）」について説明が行われた。（資料1、3）

総務省行政評価局から、「行政事業レビューシート 政策効果の測定のポイント」について、紹介が行われた。（資料2）

財務省主計局から、予算編成過程でのレビューシートの活用について、紹介が行われた。

2. 各府省における取組紹介（推進体制の整備等の取組例）

農林水産省、環境省及び消費者庁から、府省内のEBPM推進体制の整備や、意思決定プロセスに評価プロセスを接合することによる品質管理等の取組例について、紹介が行われた。（資料4～6）

3. 会長発言

会長である藤井内閣官房副長官補から発言があった。要旨は以下のとおり。

- 昨年秋以降、デジタル行財政改革が政府の重要課題となり、改革を進めるに当たっての基本的考え方の1つとして、「EBPMの手法も活用し、ロジックモデルに沿ってKPIや政策効果の『見える化』を進め、利用者にとって不断の改善をしていく」とされており、政府におけるEBPMは更に重要性を増している。
- まず、5,000の予算事業について全てレビューシートが作成されたという点は、EBPMの政策において非常に大きな前進だと考えている。財務省主計局でも活用しているという話の紹介があったが、政府全体としてEBPMをしっかりと実践していく基礎は整えられたということだと考えている。
- また、行政改革推進本部事務局や総務省行政評価局において、「行政事業レビューシート作成ガイドブック（暫定版）」及び「行政事業レビューシート 政策効果の測定のポイント」という充実した資料を作成している。すばらしい成果物だと思うので、各府省でよく勉強していただきたい。

- その上で、3点、申し上げたい。1点目。先ほど申し上げた二点の資料も参考に、レビューシートの作成が、「予算執行実績など過去の事実の説明」のみならず、政策のロジックや目標などを中心に「政策立案や予算要求という意思決定」の一環となるよう、取り組んでいただきたい。今年も、各府省のEBPM推進部局、会計課が、EBPMの知見を蓄積し、それを省内に広げていくことができるよう、行政改革推進本部事務局や総務省行政評価局が伴走支援することとしているので、うまく活用してほしい。

- 2点目。各府省においては、本日紹介した取組例も参考にしながら、改めて省幹部、管理職が率先して、省内のEBPMの定着に向けた知恵を出し、EBPM推進部局と会計課の連携を含めた体制整備や原課への支援の仕組みなどを整備し、省内にEBPMを徹底してもらいましょうようお願いする。EBPMの徹底とは、端的に言えば、政策を磨いていき効果的・効率的な政策にしていくこと、逆に、効果の薄いあるいは非効率な政策をやめることである。そのような意識を持って幹部は取り組んでいただきたい。

- 3点目。基金については、総理からの御指示を受け、先月決定した点検・見直しの横断的な方針にのっとり、年度内を目途に基金全体の点検を行っているところ。基金についても、EBPMによる効果検証が重要な原則となっているため、シートの点検に当たっては、所管部局任せにせず、行政事業レビュー推進チームも主体的に関わっていただきたい。

以上、よろしく願います。

以上